

御議論いただきたい事項（第7回）

1. 労働市場における派遣労働者の位置付けについて

- 派遣労働者は、他の雇用形態の労働者と比較してどのような特徴があるのか。社会経済環境の変化の中で、今後、労働市場においてどのような位置付けとすべきか。また、その際の課題は何か。
特に、ここ数年は派遣労働者数が横ばい・減少傾向にある一方で、非正規労働者全体の数は増加傾向にあることとの関係をどのように考えるか。
- これまで派遣労働者は「有期雇用」「無期雇用」の違いに関わらず、間接雇用という理由でほぼ区別せずに非正規労働者として取り扱われることが多かったが、このことについてどう考えるか。
また、「有期雇用」と「無期雇用」の違いにより、派遣労働者の労働市場における役割はどのように異なるか。
- 労働者派遣法の制定時以来の目的である「常用代替防止」についてどう考えるか。
- 労働契約法の改正により有期労働契約の反復更新による長期的な活用については無期契約へという道筋が示されているが、派遣労働者の活用にどのような影響があると考えられるか。

2. 派遣労働者のキャリアアップ措置について

- 派遣労働者のキャリアアップが重要である理由は何か。
* キャリアアップ：関連した職務経験の連鎖や職業訓練等の能力開発機会を通じ、職業能力の向上が図られること、また、その先の職業上の地位や賃金等の処遇の向上が図られること。
- 派遣労働者のキャリアアップ措置として、どのようなものが制度的に対応すべきものとするか。
派遣元、派遣先それぞれどのような役割が求められるか。
- 「有期雇用」と「無期雇用」の違いによって、派遣労働者のキャリアアップに係る課題はどのように異なるか。
- 派遣労働者のキャリアアップの観点からは、1か所で同じ仕事を長く続けること、複数の仕事を体験すること等どのようなキャリアパスをとることが望ましいか。